

尾張藩の学問と教育

平成24年11月17日(土)～12月13日(木)

吉見家・河村家に代表される古代学研究や伊藤啓介を生んだ尾張本草学など、江戸時代には、先進的かつ個性的で多彩な学問が生まれました。こうした尾張における学術文化発展の基礎は尾張徳川家初代義直(1600～50)によって形成されました。我が国初の聖堂の建設や、大名家随一といわれた蔵書の収集と尾張藩御文庫の創設、優れた学者の招聘と保護、彼らによる書物の編纂の主導など、幕府、大名家に先駆けた学術振興策は、義直に続く好学な歴代当主等の政策に受け継がれて、尾張における多彩な学問の発達を促すことになりました。

なかでも八代宗勝・九代宗睦の藩政改革によって、藩士教育と民衆教化を目的として誕生した藩校明倫堂は、総合的な教育と学術研究の機関となり、尾張における学術・文化の発展に大きな役割を果たしました。

蓬左文庫は昨年度、明倫堂の書籍に使用された蔵書印を御寄贈いただきました。これを記念し、歴代当主や藩の学者の著作や遺墨、明倫堂にかかる記録や蔵書などにより、尾張藩の学問と教育を紹介します。

※ *印は徳川美術館、△印は愛知教育大学付属図書館、▲印は名古屋市鶴舞中央図書館の所蔵品。注記の無いのは蓬左文庫の收藏品。

No.	名 称	時代	世紀	所蔵先
-----	-----	----	----	-----

I 初代義直と学問

1	徳川義直画像模本(原本 名古屋清浄寺旧蔵)	桜井清香筆	昭和	昭和12年<1937>	*
2	「迎涼閣」額	徳川義直(尾張家初代)筆	江戸	17	*
3	「周易」の語「知進退存亡」	徳川義直(尾張家初代)筆	江戸	17	*
4	獅子鈕陶印「御本」	徳川義直(尾張家初代)蔵書印	江戸	17	*
5	御書籍目録	2冊の内	江戸	17	
6	周易	徳川義直(尾張家初代)所用 5冊の内	江戸	慶長10年<1605>	
7	倭玉篇	徳川義直(尾張家初代)所用 3冊	江戸	慶長18年<1613>	
8	続日本紀 駿河御讓本	金沢文庫旧蔵 四十巻の内 重要文化財	鎌倉	13	
9	日本文徳天皇実録	徳川義直(尾張家初代)所用 4冊の内	江戸	17	
10	神祇宝典	徳川義直(尾張家初代)編 10冊の内	江戸	17	
11	堀杏庵画像模本(原本 東京都堀家蔵)	桜井清香筆	昭和	昭和11年<1936>	*
12	寛永御即位記略	堀正意編	江戸	17	
13	類聚日本紀	徳川義直(尾張家初代)編 70冊の内	江戸	18-19	
14	顔子・閔子像	狩野惟信筆 2幅	江戸	寛政3年<1791>	
15	「先聖殿」額	徳川義直(尾張家初代)筆	江戸	寛永10年<1633>	*
16	祝文	徳川義直(尾張家初代)筆 2枚の内	江戸	寛永10年<1633>	*
17	五聖人像	徳川義直(尾張家初代)所用 5軀	江戸	17	*
	黄金造文宣王(孔子)像・純金造帝堯像・黄金造禹王像・黄金造周公旦像・黄金造帝舜像				
18	牡丹蒔絵祠堂形厨子		江戸	17	*
19	木造彩色孔子倚像		江戸	17	*
20	源敬公廟図(定光寺徳川義直廟図)		江戸	17	*

II 尾張藩藩校明倫堂

No.	名	称		時代	世紀	所蔵先
21	吉見家書目録	吉見幸和編		江戸	18	
22	吉見左京大夫・吉見大膳大夫書状			江戸	18	
23	「時習館」額	蟹養斎筆	永井家寄贈	江戸	18	*
24	治邦要旨	付事君提綱(稿本)	蟹養斎編	江戸	元文元年<1736>	
25	「明倫堂」額	徳川宗勝(尾張家8代)筆	3冊の内	江戸	寛延2年<1749>	*
26	論語	伝徳川宗睦(尾張家9代)筆	2巻	江戸	18	
27	黒漆唐櫃(論語収納櫃)			江戸	18	*
28	明倫堂明細図			江戸	18	
29	明倫堂の図(『尾張名所図会附録』巻1)	岡田啓著	6冊の内	昭和5~8年<1930-33>		
30	明倫堂へ被為成候節之図			江戸	19	
31	明倫堂読書階級			江戸	19	
32	明倫堂始原			江戸	19	
33	亀鈕銅印「明倫堂図書」	明倫堂蔵書印	野村尚次氏寄贈	江戸	18	
34	明倫堂御蔵書目			江戸	18	
35	明倫堂献納書目			江戸	18	
36	明倫堂御文庫御書目(分類目録)			江戸	19	
37	貞観政要	駿河御讓本	明倫堂旧蔵	江戸	17	
38	周礼		明倫堂旧蔵	江戸	寛延2年<1749>	
39	嚶鳴館遺稿	細井平洲述	明倫堂旧蔵	江戸	天保年間<1830-43>	△
40	老子道德經	冢田虎注	明倫堂旧蔵	江戸	19	△
41	張州府志	松平君山編	明倫堂旧蔵	江戸	安政3年<1856>	△
42	玉鐙百首	本居宣長著	明倫堂旧蔵	江戸	19	△
43	雅語音声考	鈴木胤著		江戸	19	△
44	群書治要	明倫堂版		江戸	天明7年<1787>	

III 尾張の学者と学問

古代学

45	「文会書庫」扁額	伏原宣條筆		江戸	安永3年<1774>	▲
46	書記集解	河村秀根著	河村殷根・益根訂	江戸	18	
47	書紀集解稿本	河村秀根著	河村殷根・益根訂	江戸	18	▲
48	尾張祠考 巻上	吉見幸和著		江戸	延享3年<1746>	
49	神代正義	吉見幸和著		江戸	延享3年<1746>	
50	講令備考	神村正鄰等編		江戸	18	
51	類聚神祇本源(大須本)	稲葉通邦写		江戸	19	

本草学

52	張州雜志	「尾府内庫図書」印本	内藤東甫編	江戸	18	
53	泰西本草名疏	伊藤圭介著		江戸	文政12年<1829>	
54	本草会物品目録	嘗百社編		江戸	天保6年<1835>	
55	医学館薬品会(『尾張名所図会』前編巻2)			江戸	天保15年<1844>	

岡田啓・野口道直編 小田切春江画 雑賀重良コレクション

以上

- 出品リストの番号は、展示順を示していません。
- 作品保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。予めご了承下さい。

源氏物語の世界

平成24年11月17日(土)～12月13日(木)

『源氏物語』にまつわる写本をはじめ、絵画・書籍・工芸品など、その成立以来さまざまなかたちで享受されてきた『源氏物語』の世界を紹介します。

※ *印は徳川美術館の所蔵品。注記の無いのは蓬左文庫の収蔵品。

No.	名	称		時代	世紀	所蔵先
1	源氏物語(青表紙本)	三条西家本	五十六冊の内	室町	天文2年<1533>	
	附	桐蒔絵重箱型本箱				
2	絵入版本源氏物語	山本春正編	六十冊の内	江戸	承応3年<1654>	*
3	原中最秘抄	花山院長親筆		室町	15	
4	河海抄	伝一条兼良筆		室町	15	
5	湖月抄	北村季吟著	六十冊の内	江戸	延宝元年<1673>	
6	修紫田舎源氏	柳亭種彦著・歌川国貞画	十九冊の内	江戸	天保13年<1842>	
7	東源氏朝顔ゆふらん	歌川国貞(3代豊国)画		江戸	19	*
8	源氏物語図屏風		六曲一双	江戸	18	*
9	源氏物語蒔絵箔箱			江戸	17	*

以上

- ・ 出品リストの番号は、展示順を示していません。
- ・ 作品保存のため、展示作品および出陳期間を変更する場合があります。